

テーマ別パスファインダー



分野別レポート入門

歴史編



✦ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2020年1月14日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングコモンズ るくす | LSチーム

I. 歴史系レポートの特徴、レポート課題のパターン

＜ 歴史系レポートの特徴

- ① 歴史学は様々な資料を批判的に読み解き、現在や未来を考えるため「過去を復元する」学問です。まずはこの基本的考えを押さえましょう。
- ② 細かい年号や固有名詞の「暗記」ではなく、歴史事象の背景・経緯や歴史的意義を掴み、論理的に歴史を描くことに注力します。これが、高校までの「歴史」と大学での「歴史学」の一つの違いです。
- ③ 歴史的事実を分析し、「その事実から何が言えるか」をレポートに書きます。

＜ レポート課題のパターン

- (ア) 通史で先生が指定される、あるいは自分の興味のある時代・年代の描写・分析
例：「19世紀末から20世紀初頭のイギリスにおける自由党の再生と衰退の過程を分析しなさい。」
- (イ) ある時代・年代を特定のテーマで描写・分析（テーマ史）
例：「19世紀末から1920年代までのアメリカにおける移民政策について論述しなさい。」
- (ウ) 歴史的事件の経緯や意義の分析・説明
例：「アメリカ独立革命の歴史的意義を分析しなさい。」

II. 歴史系レポートの構成

＜ 構成の基本

- ①序論
- ②本論
 - A. 取り上げる歴史事象、年代、テーマ
 - B. 先行研究
 - C. 問題点と考察
- ③結論
- ④参考文献リスト

「例：アメリカ独立革命の歴史的意義を分析しなさい。」

①序論：②や③の構成や内容等を簡潔に予告する。

②本論：①を踏まえた上で、自分なりに考えるアメリカ独立革命の歴史的意義を論じる。

A. アメリカ独立革命の定義・説明（通説を引用したり、自分の言葉で説明したりする。）

B. アメリカ独立革命について研究者がすでに明らかにしていることをまとめる。

C. 先行研究への反論・補足（先行研究の問題点や不十分な点を補い、自分のオリジナルな見解を示す。）

③結論：①や②で述べた内容を簡潔にまとめる。

④参考文献リスト：自分が使った本やウェブサイト等の情報をリストにして書く。

III. 「歴史学」について

歴史学には様々なジャンルがあり（政治史、経済史、社会史、心性史など）、人類学や社会学、経済学など、他分野と容易に結びつきやすい、学際性の強い学問です。例えば、政治学や経済学の研究に歴史学の方法論を利用、あるいはその逆のことが行われる場合もあります。そのため、他分野のレポート執筆方法も参考にできることもあります。

IV. 参考文献

カー、E. H. 『歴史とは何か』（岩波新書）

堀米庸三 『歴史をみる眼』（NHK）

福井憲彦 『歴史学入門』（岩波書店）

野村康 『社会科学の考え方：認識論、リサーチ・デザイン、手法』（名古屋大学出版会）

有賀夏紀、紀平英作、油井大三郎 『アメリカ史研究入門』（山川出版社）

✧ [パスファインダーの凡例]

✧ 図書情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

✧ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近1~2年に出版されたものは3階雑誌コーナー、バックナンバーは1階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

✧ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。

✧ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。